

こんにちは、
日本共産党 井上けんじです

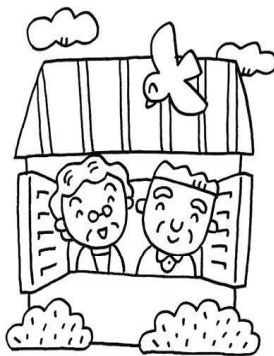


日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F 兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 2 1 1 - 2 1 3 0
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2019年6月23日号



**経済団体を
訪問・懇談**

6月12日、共産党市議員団の産業経済部会のメンバー（井上けんじ議員他3名）で、京都商工会議所や中小企業団体中央会、商工団体連合会等々、経済団体を表敬訪問。短時間でしたが、懇談、意見交換し、実情の一端をお聞きしました。消費税、人手不足とその要因、後継者育成、海外も含めた販路拡大、業種による景況感の違い、等々、話も多岐に及びました。



**国民健康保険料はなぜ高い!?
国保料、値下げへのカギは、参院選**

市の国保加入世帯に、今年度の納付書（請求書）が届いています。保険料は、なぜこんなに高いのか。その力率クリと、値下げへの展望について考えます。① 高い原因として、①

予め医療に必要な費用を見積もり、基本的に、その額を保険料で賄うよう、按分・逆算する考え方なので、そもそも、保険料負担能力を無視している、② しかしそれはとても高くなりすぎるので、国が一定割合を負担しているが、その割合を減らしてきている、③ 市も、負担を増やせば安くすることができるが、これも国が減らせと指導、

④ 職場の社会保険料も高いのに、更に国保も高い。⑤ 本来、国が責任を持つべき後期高齢者を医療の費用を国保に肩代わりさせていること、⑥ 均等割・世帯割という、所得が無くてもかかっていく計算方法を採用している為、特に均等割りは家族数の多い世帯の負担が大きいです。等々の問題点が挙げられます。

で、高すぎるので、値下げや払えないのが改善方向の減免の拡充が、国も市も、逆に差押えや、正規の保険証を渡さないなどの制限

国保料の料率、計算方法、枠組み

	医療分	後期高齢者 支援分 A	介護保険料 B	計
所得割	7.56	2.83	2.53 %	%
均等割 C	24,360	8,870	9,410	円
世帯割 D	16,490	6,000	4,750	円
合計				

Aは、後期高齢者医療保険へ「支援」、Bは40～64歳の家族数に応じて請求される（一緒に徴収される）。Dは平等割とも言われます。所得割は、(所得－33万円)×料率で計算、他は定額。均等割は、×家族数で計算。必要額の50％を所得割に、35％を均等割に、15％を世帯割に按分・逆算で計算していく。
 納付書の「法定減額」の欄に(50)、(20)等の数字が書いてある場合は、C＋Dの5割とか2割が、すでに減額されているという意味です。



放置自動車の撤去が実現（鴨川堤防にて）

スッキリ
しました



府や市が、国民の命や健康を守る責任を棚上げし、自己責任を被保険者同士の助け合いを強調していません。これらも大きな問題です。また、自治体による鴨川堤防の撤去が進む中、国保料の値下げをめぐり、参院選への道です。民主党の躍進が値下げの道です。